

第9回チャンネル700番組審議委員会 議事録

ジャパンケーブルキャスト株式会社
ソリューション事業部

1. 開催日時 平成30年3月9日(金) 11:00~12:40
2. 開催場所 本社 (東京都千代田区九段南1-6-17 千代田会館8F) B・C会議室
3. 委員 総数 9名

出席委員数 3名 (欠席委員数6名)

● 出席委員 (敬称略、氏名50音順)

| | | |
|---------------|---|-------|
| 立教大学 | 現代心理学部映像身体学科 教授 メディアセンター 副センター長 | 佐藤 一彦 |
| 株式会社 WOWOWプラス | 代表取締役社長 | 牧野 カ |
| 株式会社野村総合研究所 | コンサルティング事業本部 ICT・メディア産業コンサルティング部 プリンシパル | 山口 毅 |

● ジャパンケーブルキャスト (JCC)

| | |
|------------------|--------|
| 代表取締役社長 | 大熊 茂隆 |
| 営業本部 副本部長 | 中川 実 |
| ソリューション事業部 部長 | 徳永 慶一郎 |
| チャンネル700チーム リーダー | 岩浪 正純 |
| チャンネル700チーム 主任 | 吉水 聖一 |
| チャンネル700チーム 主任 | 枝川 遼 |
| チャンネル700チーム 担当 | 岩瀬 七海 |
| チャンネル700チーム | 齊藤 一正 |
| チャンネル700チーム | 保坂 淳 |
| チャンネル700チーム | 栃木 弘之 |
| チャンネル700チーム | 中川 洋一朗 |

4. 内容 (1) 番組審議委員の紹介
(2) 今年度の取り組みについて
(3) 700 編成分析結果
(4) 配信映像ダイジェスト上映
(6) 番組審議・意見交換 (次ページ以降参照)

5. 番組審議等

20分ほどの配信映像ダイジェストを視聴後、内容を審議し全委員から「問題あり」という意見はなかった。放送内容は以下の通り。

| 項番 | 権利元名 | 番組名 |
|----|-------------------------------------|----------------------------------|
| 1 | 飛騨高山ケーブルネットワーク | 日本三大美祭「春の高山祭」生中継 |
| 2 | 飯田ケーブルテレビ | 第20回ツアー・オブ・ジャパン南信州ステージ |
| 3 | アイ・キャン | 海上自衛隊/米海兵隊 岩国航空基地フレンドシップデー2017 |
| 4 | 内閣府 | みちびき2号機打上げライブ中継 |
| 5 | エヌ・シー・ティー | 長岡まつり大花火大会 |
| 6 | 古河ケーブルテレビ | 第12回古河花火大会 |
| 7 | 高知ケーブルテレビ | 熱踊!よさこい2017 |
| 8 | CATV 富士五湖 | 日本三奇祭 「吉田の火祭り」 |
| 9 | 陸上自衛隊 | 富士総合火力演習 |
| 10 | ハートネットワーク | 新居浜太鼓祭り2017 あかがねの上部龍鼓祭 |
| 11 | 飯能ケーブルテレビ | 秩父夜祭2017 LIVE |
| 12 | 東京ケーブルネットワーク | 高校生のための eiga worldcup2017 表彰式生中継 |
| 13 | 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) | しきさい・つばめ打上げライブ中継 |
| 14 | 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) | イプシロン3号機打上げライブ中継 |
| 15 | 花巻ケーブルテレビ | 第60回わんこそば全日本大会生中継 |
| 16 | 東京ケーブルネットワーク | あらぶんちよ散歩 |
| 17 | ケーブルテレビ | でんえんまる情報局 |
| 18 | ケーブルテレビ佐伯 | 佐伯の方言大全集 |
| 19 | 南九州ケーブルテレビネット | 新・霧島放浪記 ～鹿児島県キリシマ発のバラエティ番組～ |
| 20 | BTV | メイドインニューヨーク |
| 21 | ベイ・コミュニケーションズ | HYPER DASH 基地 |
| 22 | エルシーバイ | 自転車情報番組 Plus Bicycle |
| 23 | TOKAI ケーブルネットワーク | 田中律子の旅するS U P |
| 24 | ニューメディア 函館センター | 街ナカ情報発信!てけてけおじゃマップ |
| 25 | 三次ケーブルネット | 『伝承としての稲生物怪録』～江戸三次の怪異談～ |
| 26 | 上野原ブロードバンドコミュニケーションズ | KARATE SHOTO ASEAN JAPAN 2016 |
| 27 | 四国中央テレビ | 第10回書道パフォーマンス甲子園 |
| 28 | エルシーバイ | おんぼしら 山出し篇 |
| 29 | 長崎ケーブルメディア | ながさき原爆記録全集～アメリカ戦略爆撃調査団総集編～ |
| 30 | Australian Broadcasting Corporation | オーストラリア・プラス |
| 31 | CLUB TV JAPAN | CLUB TV |
| 32 | エキスプレス | スマイルレッスン サヘル・ローズの和のココロ |
| 33 | エキスプレス | 三宅智子の駅弁女子ひとり旅 |
| 34 | OSK 日本歌劇団 | レビューOSK |
| 35 | サンテレビジョン | 手づくり花づくり |
| 36 | リベラ | 劇場映画予告編 |
| 37 | 名古屋テレビネクスト | 天空麻雀 |
| 38 | WOWOW プラス | わが心の演歌 |
| 39 | アトス・インターナショナル | Music Japan TV |
| 40 | ジャパンケーブルキャスト | インフォ チャンネル700 |
| 41 | ジャパンケーブルキャスト | 寄席の時間 |
| 42 | ジャパンケーブルキャスト | 激闘!オセロシリーズ |
| 43 | ジャパンケーブルキャスト | 情熱!日本武道館シリーズ |
| 44 | ジャパンケーブルキャスト | 伊藤さとりと映画な仲間たち |

【チャンネル700に関する主な提言・意見交換】

【チャンネルとして】

委員 （編成分析結果を通して）チャンネル700の平均視聴率が絶対的なものなのか、相対的なものなのかが評価しづらい。

JCC 数局からのデータではないため地域の偏りなども考えられ参考数値として欲しいが、現在もSDチャンネル放送であること、低予算で編成・制作をしていることを考慮するとCS放送としては良い視聴率だと言える。

今回の視聴率はSTB経由で計測しているもの。

別件の話となるが演奏所のHD化は完了しており、放送のHD化も急ぎたい。

当社はプラットフォーム事業者である事もあり、他番組供給会社様の競合先になる事を目標としていない。そのため現在は視聴率より、視聴可能者数を重視している。

委員 CATVはコミュニティチャンネル視聴者数を増加させるための施策はあるのか。仕事で話が出る事があるため施策を聞いていれば参考にしたい。

JCC チャンネル700をコミュニティチャンネルで放送する際の宣伝は局に任せているが、JAXAを始めとする、中継案件の通告・宣伝は積極的に実施している局もある様だ。中部ケーブルネットワークのガイド誌に番組情報の掲載をしていることも、広告宣伝の一環である。

その他、自社コンテンツの宣伝に関しては自前のガイド誌やHPなどで行っているとされるが機会があれば700チームでリサーチし共有する。

【中継案件について】

委員 JAXA中継時に解説を共に放送してはどうか。

JCC 生中継は制作そのものを局やJAXAが行っており、700でコントロールしていないがJAXAに関して言えば案件ごとに、飛行物の解説がある時もある。案件によって解説の程度に差がある。

委員 お祭り中継の、視聴者からの反応はどのようなものか。

JCC 以前、そのエリアに住まわれていた、もしくは旅行にいき観賞した事があったという視聴者が祭を懐かしんで、お便りを寄せていただくこともある。視聴可能な領域が全国になるため、中継元のスタッフやアナウンサーの士気があがり、より良いものが制作される事に繋がっているというケーブルテレビ事業者様からのご意見も頂いている。

- 委員 データ分析で話が出たが比較的若者にも見られているのは意味があると思う。
昨今は、地上波でのお祭り生中継が減少しているため、ダイジェストを見て改めて『生中継』はコンテンツとしての魅力が強いと感じた。
中継で流れる映像には、「今のっぼん」がある。
中継には『ドラマ』があるので、ストーリー性を持たせるのもよいのではないか。視聴者が映像から想像を広げてくれるかもしれない。生中継自体をたっぷり見せていく編成の強みを感じる。
- JCC 生中継は引き続きケーブル事業者様と続けていきたいと考えている。ジャンルに関してはオールジャンルで今現在は進んでいるが今後の参考にしたい。
- 委員 今回の番審VTR用に編集されたからかもしれないが、中継時のカット数が多い。カット数は少なく、一つひとつが長い方がよい。
また中継の季節の偏りが気になる。
中継案件が少ないのなら、季節を実感することのできる番組を制作することも考えてみるのはどうか。一方で、編集作業等のマンパワーを考慮しつつ、『季節感』は考慮すべき要素である。
お祭り中継の放送構成について、行事の時間帯だけでなく、その前の時間帯等も流して、お祭りを強調するのもよい。
その一環として、解説を中継に追加することもよいと考える。
- 解説方法
- ① 解説席を設置し、進行役と祭の参加者が地域の紹介をする。
 - ② 解説ブロックVTRを予め制作し、中継映像と合わせて放送する。
 - ③ 祭の主人公を定めて、数日カメラで追って、中継時にもその方の様子を放送する。
- すなわち、祭りの見せ方を、直球(様子を放送する)だけにすることに限らずとも好いのではないか。
- JCC 番組構成や編集は各ケーブル事業者によって行われており、700は放送そのままの信号を分配いただき放送している。そのため構成に関し口を出すことはほぼない。但し事後中継についてお話しする局もあり今後のご参考にさせていただいている局も存在する。今回のダイジェストは年間のハイライトを20分にしたためカットが多くなってしまった。季節感についてもダイジェスト映像では数秒間なので伝わらなかった点であり今後考慮する。

- 委員 ケーブル事業者が、コミュニティチャンネル番組制作のためスタジオを設営しても、局の望む視聴率を獲得できないとの意見を多く聞く。
チャンネル700の視聴者数増加の実績は、ノウハウ化されていると考えられる。そのノウハウを各局に提供できれば、局の成長を援助できるのではないかと。全国の番組を放送している強みを活かして、地方の町を現実的につなぐ、施策を考えてみてはどうだろうか。ダイジェスト映像を見ただけでも全国のお祭りの生中継を見るとその場に行きたい」と思った。
- 委員 チャンネル700『様々なジャンルに挑戦する』こともよいが、種類を特化する、または排除することも、地上波との差別化となり良いのではないかと。その決定を下すまでに、様々なジャンルに挑戦するのもよいが、地上波に近づいてしまう可能性もある。
- 委員 オセロなど、全体的な(競技)人口の数が不明な、ジャンルに関しては、どれほどのボリュームで効果が得られるのか、今後考慮してゆく必要を感じる。同時に尖がったジャンルは必要であるが全国に通用するコンテンツを見つけていく事も必要と考える。
- 委員 地域のケーブル事業者と一緒に行われているのも魅力。素晴らしいネットワークだと思う。
- JCC チャンネル700にも地上波に対する憧れはあるが、各局がやらない部分を放送することを目指してゆく。全国のコミュニティチャンネルで放送されているコンテンツは素晴らしいものがあり、今後も全国に紹介していきたい。今後、映像配信がライバルとなり、テレビモニターが持つ効果への対抗策を考える必要がある。

以上